

9. 在宅復帰率

(解説) 治療が一段落し、自宅などへ退院することが多い場合には、率が上昇します。

当院の様に急性期医療を主に担っている病院の場合には、リハビリ等を専門の病院に転院して、より身体機能を安定させてから退院する場合があります。このような場合には率が低くなります。

より高い値を目指しています。

(※)「在宅」とは、退院先が、外来（自院、他院）、家庭への退院、介護老人福祉施設、社会福祉施設・有料老人ホーム を含みます。

(分子) 退院先が自宅等の患者数

(分母) 生存退院患者数

	当院	全国		
		施設数	中央値	平均値
2018年度	92.8%	(163)	90.8%	89.2%
2019年度	92.1%	(157)	90.2%	88.9%
2020年度	90.7%	(157)	89.8%	88.1%
4~6月	90.7%	(157)	89.8%	88.1%
7~9月				
10~12月				
1~3月				

